

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について（北多摩北部）

小平・東村山・西東京・清瀬・東久留米

1 選定病院

公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター（東村山市）

2 事業計画と選定委員会での主な意見

事業計画		選定委員会での意見
地域の向上力	<p>OT・PT・ST等対象</p> <ul style="list-style-type: none"> リハ技術研修会の開催（1～2回/年） <p>かかりつけ医対象</p> <ul style="list-style-type: none"> リハマップ、脳卒中リハビリテーションナビゲーターを作成し配布【医師会（5市）】 	・特になし
訪問・通所リハ分野への支援	<p>ケアマネ向け研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 区市町村と協力し、研修会を開催（1～2回/年）【医師会・区市町村（5市）】 <p>ケアプラン相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門外来を実施 電話による相談対応 	・ケアマネジャーの相談窓口は、外来とは別に設けて欲しい。
地域リハ関係者との連携強化	<p>連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹事会の開催（3回/年） 	・幹事会には、介護保険関係団体にも入っていただいた方がよい。
選択する役割	<p>高次脳のリハ事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害支援者ネットワーク協議会への支援、会議への参加 <p>地域のニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 高次脳障害に係る市民公開講座の開催再（3回/年） リハビリ手帳の発行 	・特になし
<p>【総合評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な取組を行っていると思う。 在宅、介護への連携等の充実が望まれる。 さらに、活発な取組を期待する。 住民参加型の講座もさらに実施して欲しい。 		

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村	地区医師会
現在の連携状況	有 5 箇所	有 2 箇所
	<p>【連携内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業幹事会への出席（小平・東村山・西東京・清瀬・東久留米） 市民公開講座等の開催（小平・東村山・清瀬・東久留米） リハマップ作成（東村山・清瀬） 	<p>【連携内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩北部医療センター運営協議会（北多摩） センター主催の研修会の案内、参加勧奨を行うほか、医師会副会長が支援センター世話人会の世話人を行っている（東久留米）
	無 1 箇所	無 1 箇所
指定に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> これまで以上に支援、指導、助言をお願いし、各事業を円滑かつ適切に推進していただきたい（小平） 「市民公開講座」や「リハマップ」等の発刊など多種多様な事業を展開しており、地域包括支援センターや介護保険事業所等の地域リハの実践、意識付け等に多大な貢献をしている。（東村山） 地域の医療機関や近隣の自治体との連携が確立している（清瀬） 医療機関におけるリハビリ、デイケア等の連携がスムーズにいくように事例紹介等具体例を示し、学習させて頂きたい（東久留米） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域リハの必要性があるが、病院の取組みとしては地域への発信が少なく連携という程の事は難しい（北多摩） このまま多摩北部医療センターにお願いしたい（東久留米）
事業計画に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 各市の高齢・介護分野への事業の趣旨普及、理解の促進を図るため、一堂に会する場を設けるなどの取組をお願いしたい（小平） 幹事市には一定の負担があり、市によっては協力体制が整わないことも考えられる（東村山） 公開講座の開催が多いため、幹事市になった自治体は負担が多くなっている（清瀬） 介護事業者に向けて「高齢者の転倒骨折予防」について具体事例をご教授願いたい（東久留米） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後必要な各市との連携体制が必要である（北多摩） 多職種協働の研修会を年に2回程度開催して欲しい（東久留米）